

2 月度個人 山 行 報 告 書		報告者	竹内	参加 メンバー	CL: 竹内 塚本
		報告日	3/8		
山 域		山行日	06 年 2 月 14 日 ( 火 ) ~		
山 名	大川入山		年 月 日 ( )		
山行目的	あららぎスキー場から入山		コースタイム ( 天候 : 天気図記号 )		

配布先
集会:12
山行: 1 リーダー
原紙:集会 担当者

<p>ルート図 ( 地図を見て正確に )</p> <p>2.5 万分の 1 地図 : 浪合</p>	<p>2/14 ( 火 ) 晴れ</p> <p>7 : 20 あららぎスキー場</p> <p>9 : 30 1700m</p> <p>12 : 15 大川入山 ( 頂上 )</p> <p>14 : 58 あららぎスキー場</p>
---	--

前夜、刈谷を出発、治部坂で仮眠をして、早朝あららぎスキー場に向かう。スキー場は平日の為、車は少なく、空いている。さっそく準備をして出発する。整備されたゲレンデの中を進む。第二リフトの中ほどからゲレンデの左端に進むと登山口の標識が見えてくる。夏道は雪に覆われて、踏み跡もついていないがそこを進んでいく。雪の上には数種類の動物の足跡がついているが、その知識が無いので動物の名前が浮かんでこないのが残念である。雪の深さはくるぶしくらいである。天気も良く 30 分ほど歩いたところで、暑くなってきたのでカップを脱いで体温調整をする。尾根に上がり、やがて 1700 m まで登ると南アルプスから中央、北の穂高まで見渡せるようになってきた。さらに進むと雪も深くなってきたので、そこから先は、ワカンを着用して進むことになった。スキー場からの尾根がピーク近くになった頃、大川入山に向かう尾根が左手に見えてきたので、今度はそこを目指して登り始めた。ここから頂上までは 1 ピッチで到着である。頂上からの展望をしばらく楽しんだ後、登ってきた道をそのまま下山した。ちょうど駐車場についた頃、雨が降り出してきた。天気予報では夕方と聞いていたが、少し早い時間に降り出したのである。

帰りは、宿り木の湯によって、汗を流してゆっくりした。平日なのでお客さんも少なく、のんびりできた。今回のルートは 2 ヶ月前に登ろうとして登頂できなかったことへの思いと、雪のある時期にもう一度登りたいと思っていたのが、実現できてうれしかった。

フリースペース  
山の紹介・スケッチ・エピソード・その他自由に



頂上からの景色

確認 (リーダー)
竹 06/02/15
(報告者)
竹 06/02/15
内

リーダー所見 あららぎスキー場からのルートで登頂したのは初めてだったので新鮮味もあり、よかった。ワカンを着用して登ったのも久々である。雪は先回よりしまっており、歩きやすいと思った。